

## 2019年日本近代文学会関西支部秋季大会 ご案内

【日時】 2019年11月10日（日）午前10時～

【場所】 神戸大学瀧川記念学術交流会館（神戸大学文理農学部敷地内）

【共催】 神戸大学大学院人文学研究科海港都市研究センター

### <開会の辞>

神戸大学大学院人文学研究科海港都市研究センター 副センター長 濱田麻矢

### <自由発表>

古井由吉『神秘の人びと』における「神秘主義」受容 竹永知弘

物語をめぐる抗争—中上健次『千年の愉楽』における「路地」の表象とその限界 松田樹

保田與重郎の女性表象—その創作観に着目して 遠藤太良

江戸川乱歩『人間椅子』論—椅子職人「私」における「肉体」と「精神」 穆彦姣

### <小特集企画>「神戸からブラジルへ～過程と着後の記録、文学～」

趣旨説明・司会 木谷真紀子

発表

・戦後南米移住者の船上体験—〈個別の集まり〉から〈連帯感の醸成〉へ 飯窪秀樹

・一九五〇年代ブラジル邦字紙における日本語文芸—短歌を軸として 杉山欣也

質疑および全体討議

### <関西支部創設四十周年 特別企画>「関西支部の意義と展望」

趣旨説明・司会 佐藤秀明

登壇 太田登、増田周子、木田隆文、斎藤理生

質疑応答

### <関西支部運営委員会報告>

### <閉会の辞>

支部長 佐藤秀明

※昼食につきまして、日曜日の午前中から開催でございますので、事前にご用意いただくと便利です